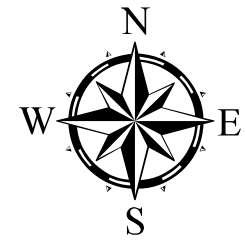


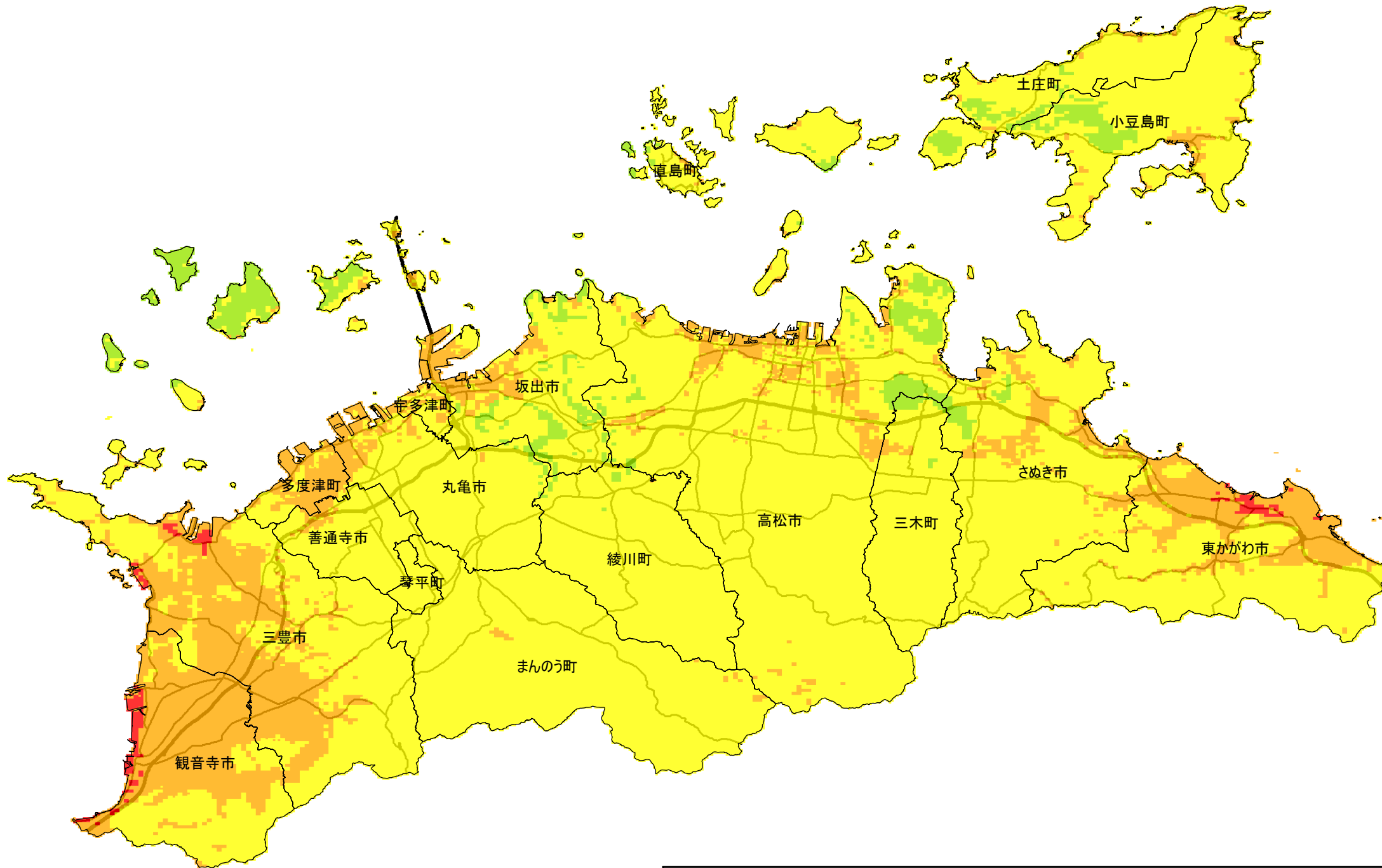
香川県震度分布図(南海トラフの最大クラスの地震)



	震度7		震度5弱
	震度6強		震度4
	震度6弱		震度3以下
	震度5強		

南海トラフで最大クラスの地震が発生した場合の揺れの強さを示しています

- お住まい等の地域がどのくらい揺れるのか確認し、建物の耐震化や家具等の転倒防止対策を行きましょう。
- 地震が発生したら、まずは揺れから身を守りましょう。
- 揺れがおさまったら、速やかに避難を開始しましょう。



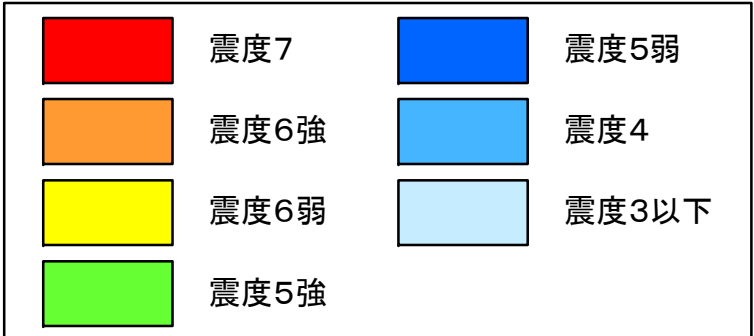
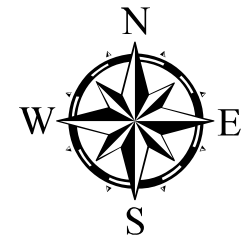
○南海トラフの最大クラスの地震
 南海トラフで、千年に一度あるいはそれよりもっと低い頻度で発生するが、発生すれば、甚大な被害をもたらす最大クラスの地震のこと。
 この震度分布図は、南海トラフで最大クラスの地震を発生させる断層モデルとして国が示した4つのモデルごとに震度を算出し、各地点ごとにその最大値を示したものです。
 次に南海トラフで発生する地震の震度を示したものではありません。

震度階級	震度と揺れ等の状況(概要)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性の低い木造建物は、傾くもの、倒れるものがさらに多くなる ・耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある ・耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える
6強	<ul style="list-style-type: none"> ・はわないと動くことができない、飛ばされることもある ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える ・大きな地割れが生じたり、大規模な土すべりや山体の崩壊が発生することがある ・耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える
6弱	<ul style="list-style-type: none"> ・立っていることが困難になる ・固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなる ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある ・耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある
5強	<ul style="list-style-type: none"> ・物につかまらなると歩くことが難しい ・棚にある食器類や本で落ちるものが増える ・固定していない家具が倒れることがある ・補強されていないブロック塀が崩れることがある
5弱	<ul style="list-style-type: none"> ・大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる ・棚にある食器類や本が落ちることがある ・固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの人が驚く ・電灯などのつり下げ物は大きく揺れる ・座りの悪い物置が、倒れることがある



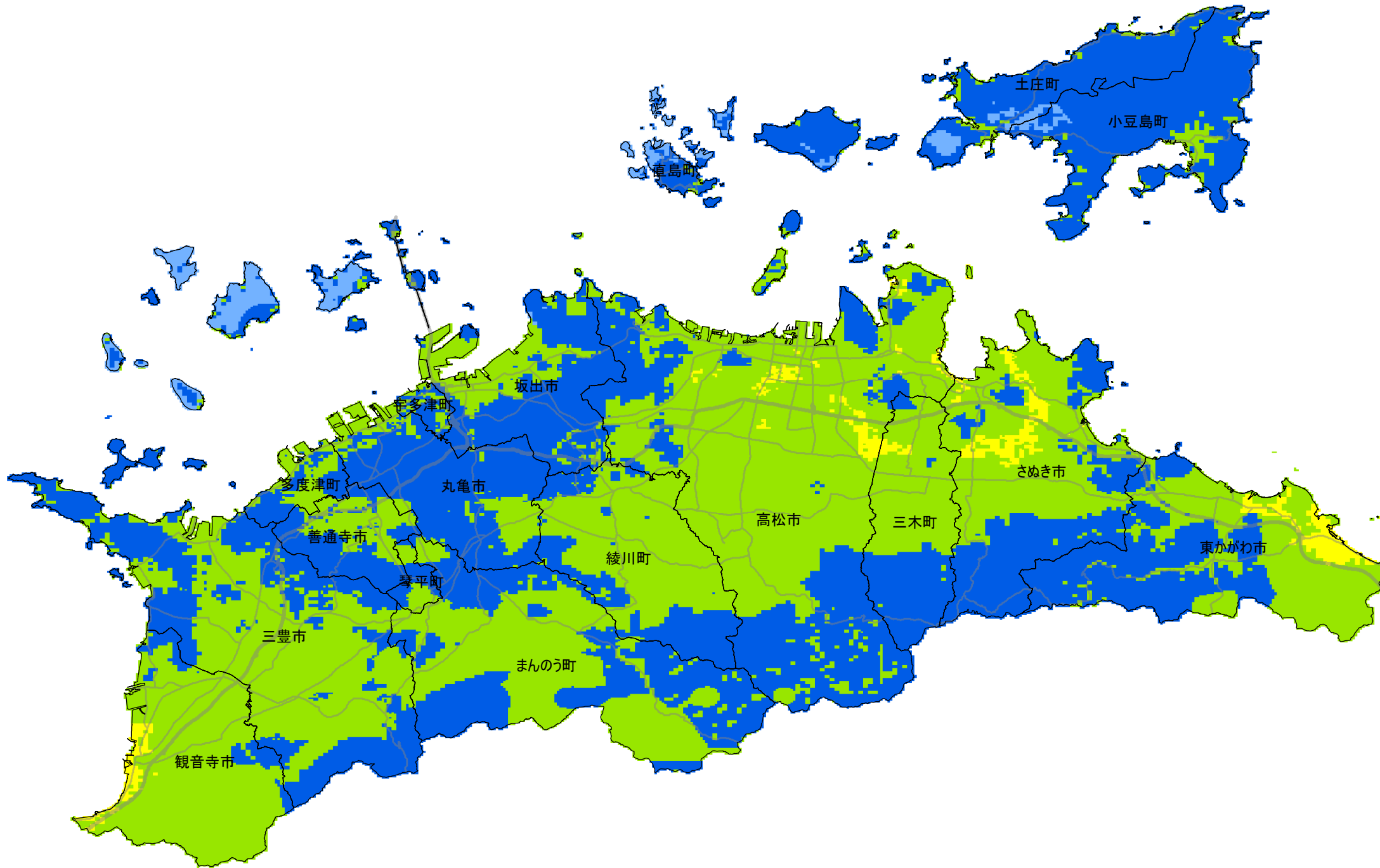
※ 地震は自然現象であり、不確実性を伴い、また、現在の科学では限界があることからこの図以上の揺れになることもあります。

香川県震度分布図(南海トラフの発生頻度の高い地震)



南海トラフで発生頻度の高い地震が発生した場合の揺れの強さを示しています

- お住まい等の地域がどのくらい揺れるのか確認し、建物の耐震化や家具等の転倒防止対策を行きましょう。
- 地震が発生したら、まずは揺れから身を守りましょう。
- 揺れがおさまったら、速やかに避難を開始しましょう。



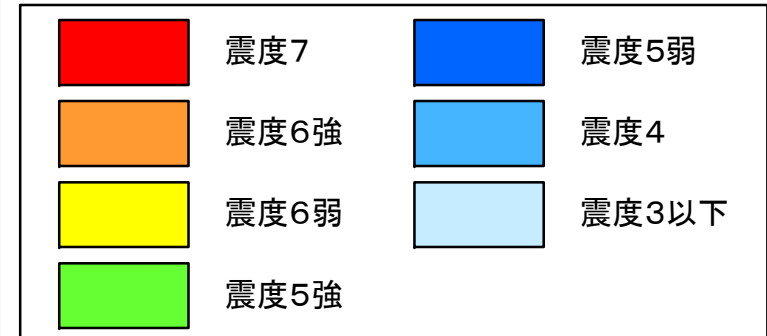
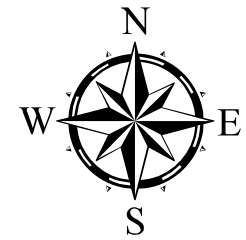
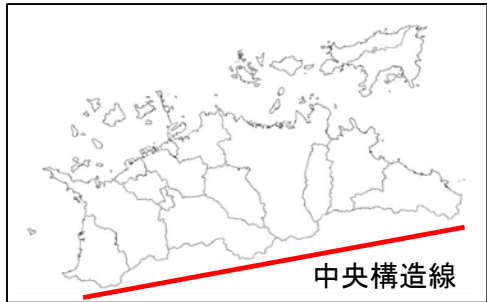
○南海トラフの発生頻度の高い地震
 南海トラフで数十年から百数十年に一度程度発生し、最大クラスに比べ、震度は小さいものの大きな被害をもたらす地震のこと。
 この震度分布図は、南海トラフで発生する頻度の高い地震として選定した4つの地震ごとに震度を算出し、各地点ごとにその最大値を示したものです。

震度階級	震度と揺れ等の状況(概要)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性の低い木造建物は、傾くもの、倒れるものがさらに多くなる ・耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある ・耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える
6強	<ul style="list-style-type: none"> ・はわないと動くことができない、飛ばされることもある ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える ・大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある ・耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える
6弱	<ul style="list-style-type: none"> ・立っていることが困難になる ・固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなる ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある ・耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある
5強	<ul style="list-style-type: none"> ・物につかまらなると歩くことが難しい ・棚にある食器類や本が落ちるものが増える ・固定していない家具が倒れることがある ・補強されていないブロック塀が崩れることがある
5弱	<ul style="list-style-type: none"> ・大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる ・棚にある食器類や本が落ちることがある ・固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの人が驚く ・電灯などのつり下げ物は大きく揺れる ・座りの悪い物置が、倒れることがある



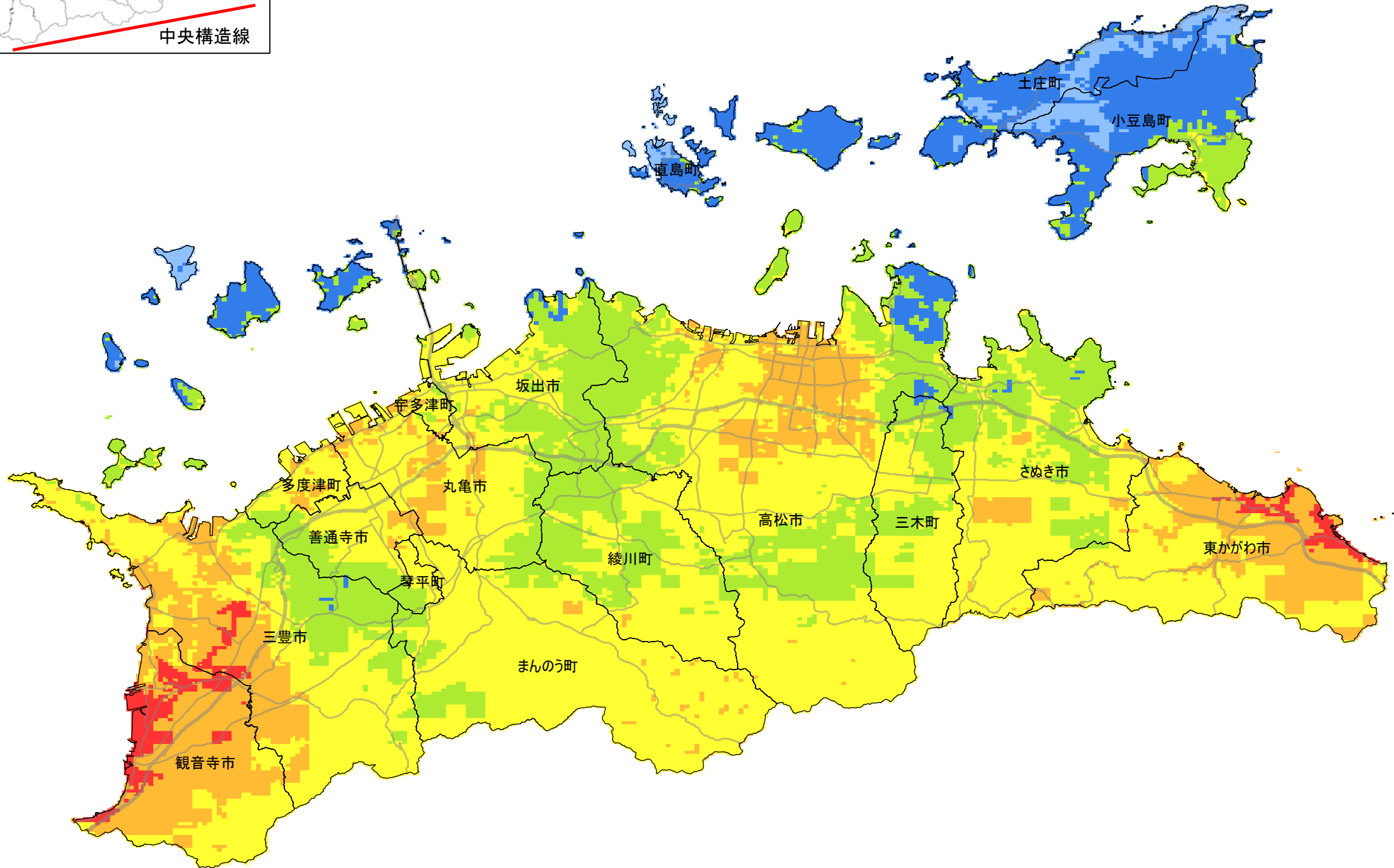
※ 地震は自然現象であり、不確実性を伴い、また、現在の科学では限界があることからこの図以上の揺れになることもあります。

香川県震度分布図(中央構造線)



中央構造線で地震が発生した場合の揺れの強さを示しています

- お住まい等の地域がどのくらい揺れるのか確認し、建物の耐震化や家具等の転倒防止対策を行いましょう。
- 地震が発生したら、まずは揺れから身を守りましょう。
- 揺れがおさまったら、速やかに避難を開始しましょう。



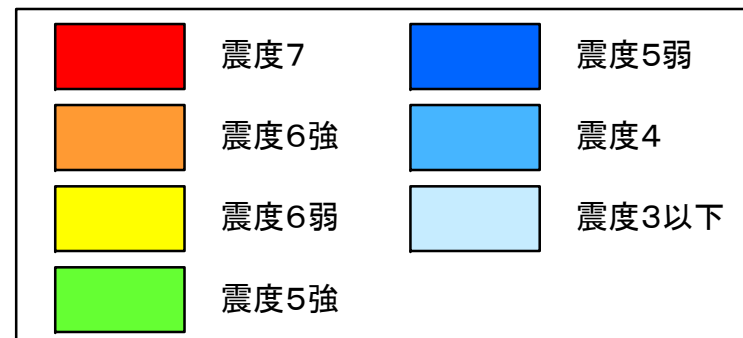
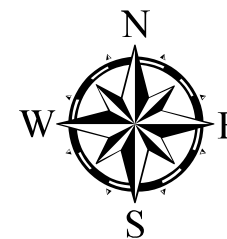
○中央構造線
 中央構造線は、関東から九州へ西南日本を縦断する大断層です。このうち、本県の被害想定の対象とする断層は、讃岐山脈南縁から石鎚山脈北縁東部に位置する断層とし、その発生頻度は、千年～千六百年に一度となっています。
 この震度分布図は、中央構造線(讃岐山脈南縁から石鎚山脈北縁東部)の断層モデルとして国が示した4つのモデルごとに震度を算出し、各地点ごとにその最大値を示したものです。

震度階級	震度と揺れ等の状況(概要)
7	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性の低い木造建物は、傾くもの、倒れるものがさらに多くなる 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える
6強	<ul style="list-style-type: none"> はわないと動くことができない、飛ばされることもある 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える
6弱	<ul style="list-style-type: none"> 立っていることが困難になる 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなる 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある
5強	<ul style="list-style-type: none"> 物につかまらなると歩くことが難しい 棚にある食器類や本で落ちるものが増える 固定していない家具が倒れることがある 補強されていないブロック塀が崩れることがある
5弱	<ul style="list-style-type: none"> 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる 棚にある食器類や本が落ちることがある 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある
4	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの人が驚く 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる 座りの悪い物置が、倒れることがある



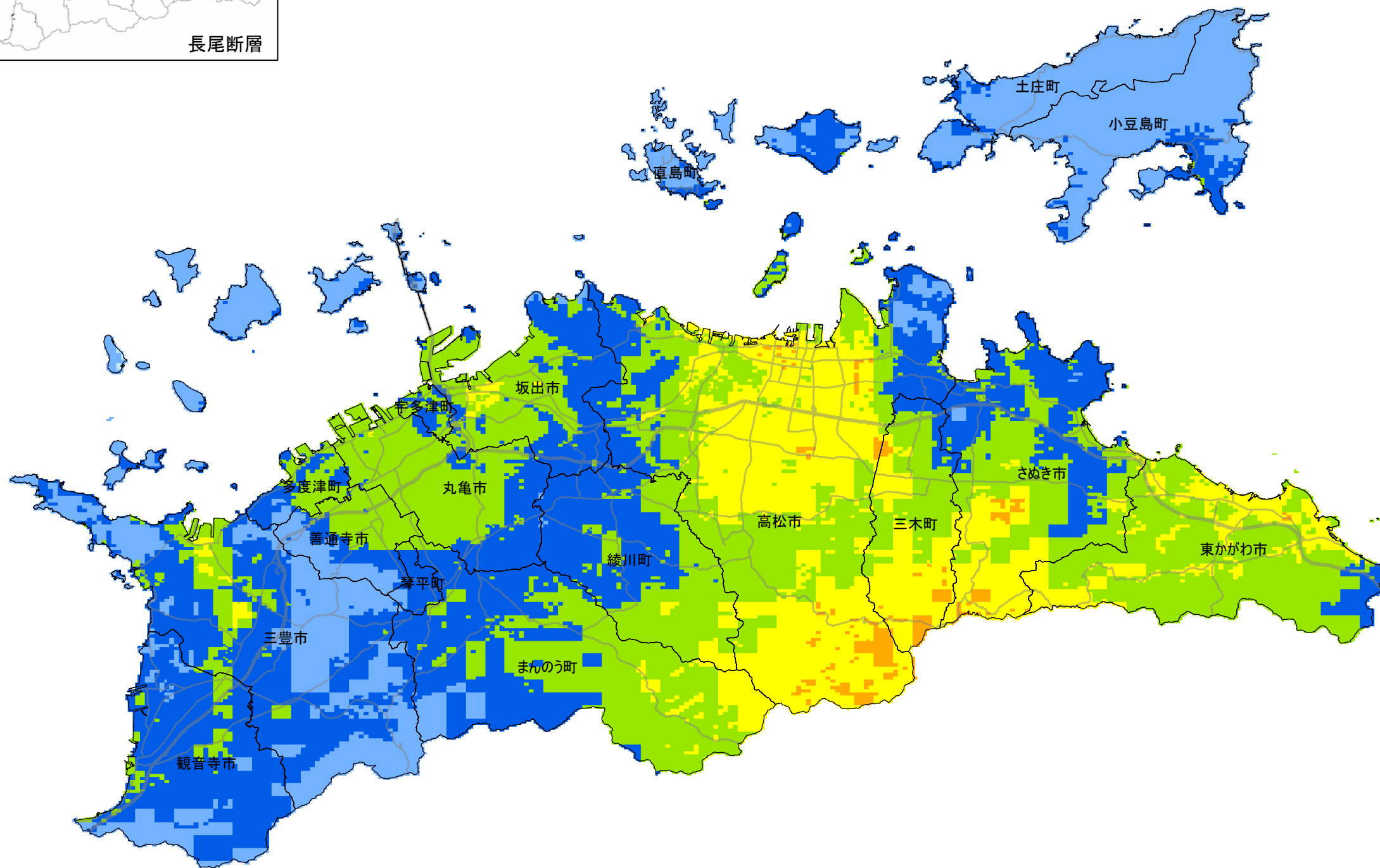
※ 地震は自然現象であり、不確実性を伴い、また、現在の科学では限界があることからこの図以上の揺れになることもあります。

香川県震度分布図(長尾断層)



長尾断層で地震が発生した場合の揺れの強さを示しています

- お住まい等の地域がどのくらい揺れるのか確認し、建物の耐震化や家具等の転倒防止対策を行いましょ。
- 地震が発生したら、まずは揺れから身を守りましょ。
- 揺れがおさまったら、速やかに避難を開始しましょ。



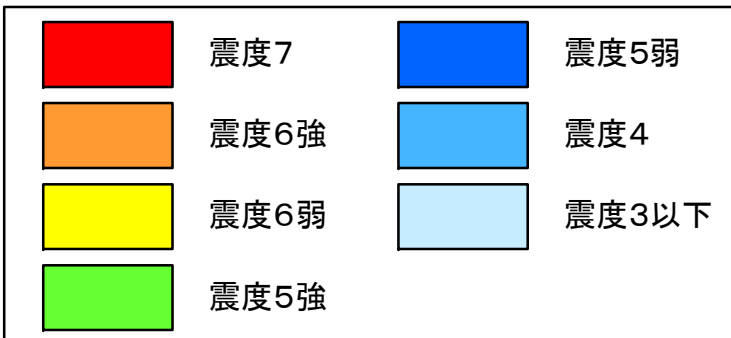
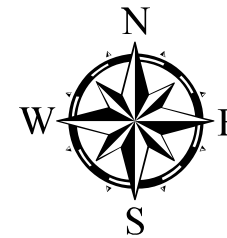
震度階級	震度と揺れ等の状況(概要)
7	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性の低い木造建物は、傾くもの、倒れるものがさらに多くなる 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える
6強	<ul style="list-style-type: none"> はわないと動くことができない、飛ばされることもある 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える
6弱	<ul style="list-style-type: none"> 立っていることが困難になる 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなる 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある
5強	<ul style="list-style-type: none"> 物につかまらなると歩くことが難しい 棚にある食器類や本で落ちるものが増える 固定していない家具が倒れることがある 補強されていないブロック塀が崩れることがある
5弱	<ul style="list-style-type: none"> 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる 棚にある食器類や本が落ちることがある 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある
4	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの人が驚く 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる 座りの悪い物置が、倒れることがある

○長尾断層
 長尾断層は、讃岐山脈の北縁に位置し、さぬき市から高松市香南町に至る断層で、発生頻度は、三万年に一度となっています。
 この震度分布図は、長尾断層の断層モデルとして国が示した3つのモデルごとに震度を算出し、各地点ごとにその最大値を示したものです。



※ 地震は自然現象であり、不確実性を伴い、また、現在の科学では限界があることからこの図以上の揺れになることもあります。

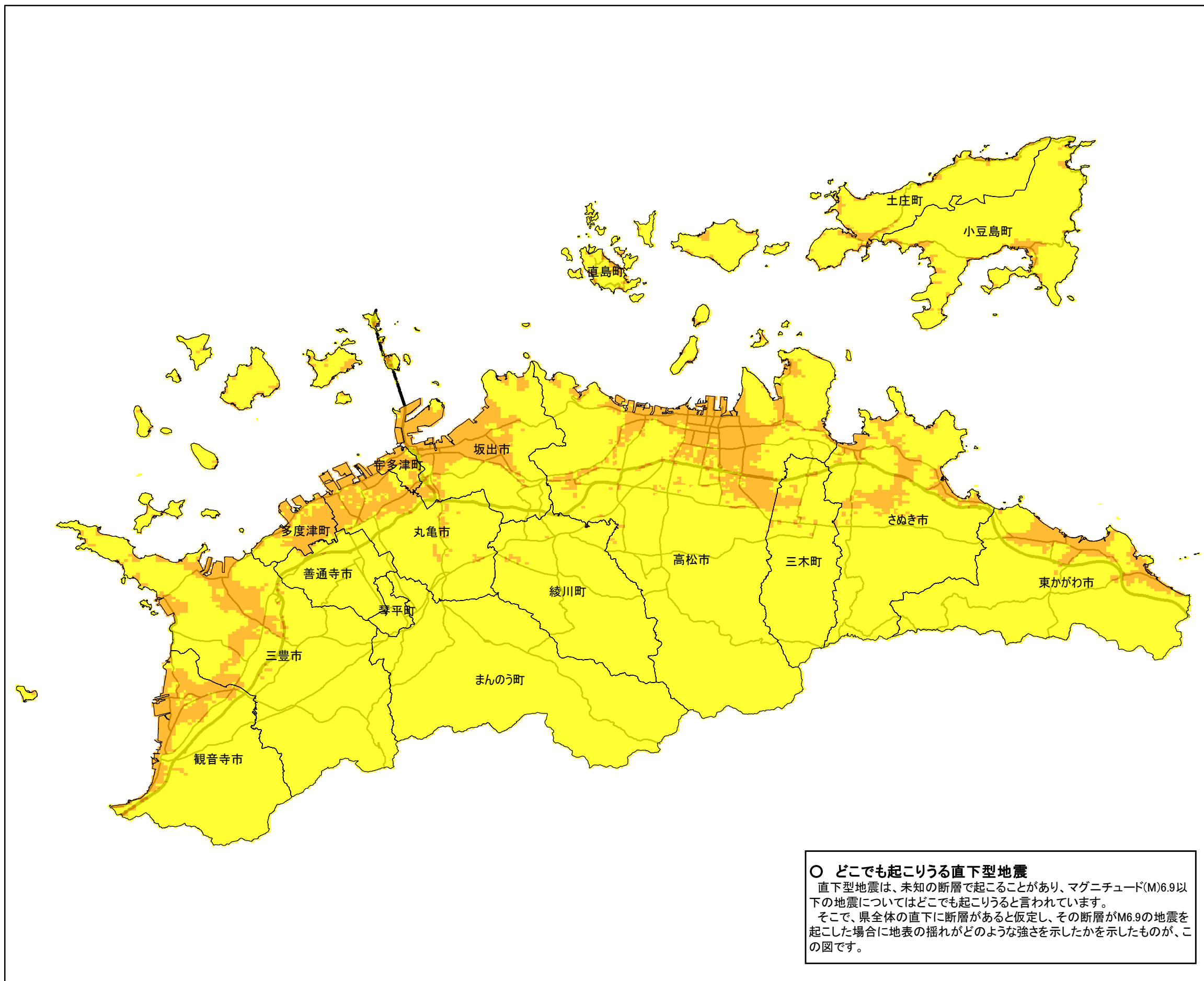
香川県震度分布図(どこでも起こりうる直下型)



どこでも起こりうる直下型地震が発生した場合の揺れの強さを示しています

- お住まい等の地域がどのくらい揺れるのか確認し、建物の耐震化や家具等の転倒防止対策を行きましょう。
- 地震が発生したら、まずは揺れから身を守りましょう。
- 揺れがおさまったら、速やかに避難を開始しましょう。

震度階級	震度と揺れ等の状況(概要)
7	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性の低い木造建物は、傾くもの、倒れるものがさらに多くなる 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える
6強	<ul style="list-style-type: none"> はわなないと動くことができない、飛ばされることもある 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える
6弱	<ul style="list-style-type: none"> 立っていることが困難になる 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなる可能性がある 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある
5強	<ul style="list-style-type: none"> 物につかまらなると歩くことが難しい 棚にある食器類や本が落ちるものが増える 固定していない家具が倒れることがある 補強されていないブロック塀が崩れることがある
5弱	<ul style="list-style-type: none"> 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる 棚にある食器類や本が落ちることがある 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある
4	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの人が驚く 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる 座りの悪い物置が、倒れることがある

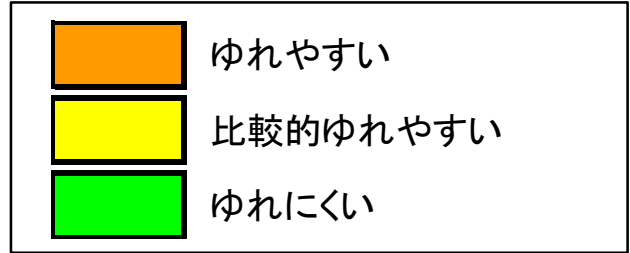
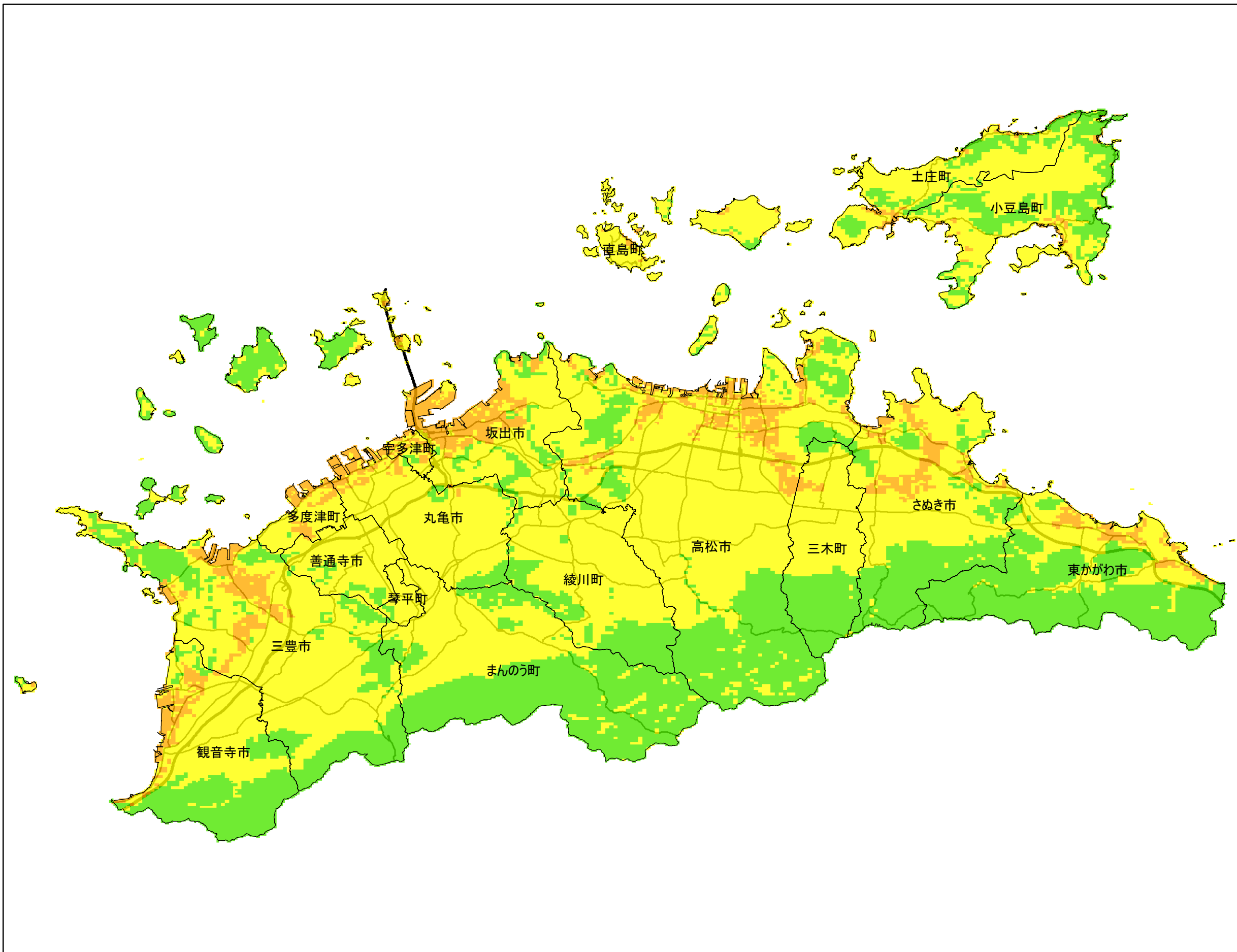
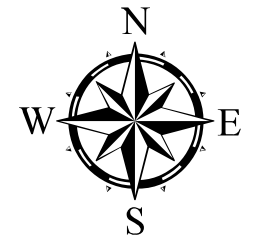


○ どこでも起こりうる直下型地震
 直下型地震は、未知の断層で起こることがあり、マグニチュード(M)6.9以下の地震についてはどこでも起こりうると言われていました。そこで、県全体の直下に断層があると仮定し、その断層がM6.9の地震を起こした場合に地表の揺れがどのような強さを示したかを示したものが、この図です。

※ 地震は自然現象であり、不確実性を伴い、また、現在の科学では限界があることからこの図以上の揺れになることもあります。



ゆれやすさマップ



表層の地盤の相対的な「ゆれやすさ」を示しています。

- 地震による地表でのゆれは、地震の規模（マグニチュード）、震源からの距離、表層の地盤の固さ・柔らかさによって変わってきます。マグニチュードや震源からの距離は同じでも、表層の地盤が柔らかいとゆれやすくなります。
- この地図は、地盤のゆれやすさを相対的に示したものです。建築物の危険度を示したものではありません。
- ゆれやすいとされた地域では、とくに建物の耐震化や家具の転倒防止策を行うなど、日頃の地震への備への参考にしてください。

